

第2次津市男女共同参画基本計画

平成27年度施策進捗状況に対する評価と意見
(平成28年12月)

はじめに

国の基本法等が定める基本理念を踏まえ、平成19年に制定された『津市男女共同参画基本条例』は、市長に「基本計画」の策定を義務づけている。津市では、平成20年に『津市男女共同参画基本計画』が策定され、条例に掲げられている4つの基本理念のもとで、7つの基本目標と19の施策の方向性が示された。津市男女共同参画審議会では、その方向性に基づいて策定された各事業の達成度、進捗状況に対する評価を毎年度実施してきている。

平成25年3月に『第2次津市男女共同参画基本計画』が策定されたことから、平成26年、27年には、当該計画に基づく庁内各担当課等（以下「事業実施機関」という。）の前年度における施策進捗状況について、評価作業を実施した。そして、昨年度は、『施策進捗状況に対する評価と意見』をまとめるにあたり、全体評価及び基本目標別評価において、年度ごとに各評価の比率を表記し、推移が明らかになるような工夫を行った。これにより、今回は過去3年間の施策進捗状況についてひと目で比較することが可能である。また、「意見」についても、昨年度から記述の具体性に配慮するために分量を増やしており、今回もそれを踏襲している。

さて、今年度の評価全体として、「施策の方向に対し、一定の効果があつた」というB評価が最も多い点は従来と変わりがないが、E評価判定の事業がなくなり、A評価判定の事業が増える一方で、B評価と判定された事業が減り、C評価判定の事業が増えるという変化が生じた。すなわち、事業により、進捗状況や取組姿勢に温度差が生じていることが推察されるのである。

この評価作業は、審議会の中に検討委員会を設置して実施し、事業実施機関に対して、意見や質問を評価過程において行っているが、その中でも、ポイントとなる点をこの「評価と意見」に記載した。一方、本稿での評価とは別に、個々の施策進捗状況について行った評価では、一つひとつの事業に対し審議会からの意見を付している。各事業実施機関においては、これらの評価と指摘事項をしっかりと受け止めていただき、今後も男女共同参画の視点に立った事業推進に取り組んでいただきたいと考える。

目 次

1	第2次津市男女共同参画基本計画（平成25年度～29年度）の体系図	1
2	第2次津市男女共同参画基本計画 平成27年度施策進捗状況 全体評価	2
(1)	評価	2
(2)	意見	2
3	第2次津市男女共同参画基本計画 平成27年度施策進捗状況 基本目標別評価	3
(1)	基本目標別評価一覧	3
(2)	基本目標別評価と意見	4
	基本目標Ⅰ 男女共同参画意識の啓発	4
	基本目標Ⅱ 政策・方針決定の場における男女共同参画	5
	基本目標Ⅲ 学校教育・生涯学習等における男女共同参画の推進	6
	基本目標Ⅳ あらゆる場面における男女共同参画の推進	7
	基本目標Ⅴ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	8
	基本目標Ⅵ 男女共同参画を阻害するあらゆる暴力の防止	9
	基本目標Ⅶ 男女共同参画の視点による健康づくりと生活支援	10
4	参考資料	11
(1)	津市男女共同参画審議会委員名簿	11
(2)	第2次津市男女共同参画基本計画 平成27年度 施策進捗状況評価経過	12

1 第2次津市男女共同参画基本計画(平成25年度～29年度)の体系図

目標	基本目標	施策の方向
男女共同参画社会の実現	I 男女共同参画意識の啓発	① あらゆる場面での男女共同参画意識の啓発の推進 ② 関係機関・各種団体等との連携による男女共同参画意識の啓発の推進
	II 政策・方針決定の場における男女共同参画	① 市の審議会等での男女共同参画の推進 ② 事業所・各種団体等の方針決定の場における男女共同参画の促進 ③ 市職員の男女共同参画の視点に立った登用
	III 学校教育・生涯学習等における男女共同参画の推進	① 子どもの頃からの男女共同参画の理解の促進 ② 男女共同参画社会の実現に向けた生涯学習の推進
	IV あらゆる場面における男女共同参画の推進	① 家庭における男女共同参画の促進 ② 地域における男女共同参画の促進 ③ 防災における男女共同参画の促進 ④ 働く場における男女共同参画の促進 ⑤ 女性のチャレンジ支援
	V ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	① ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の啓発と普及 ② 子育て・介護支援の充実 ③ 育児・介護休業制度等の整備と利用促進
	VI 男女共同参画を阻害するあらゆる暴力の防止	① DV防止に向けた教育、広報、啓発及び被害に対する相談・支援体制の整備と充実 ② セクシュアル・ハラスメント等の防止に向けた教育、広報、啓発及び被害に対する相談・支援体制の整備と充実
	VII 男女共同参画の視点による健康づくりと生活支援	① 生活上の困難を抱える人への相談・支援体制の整備と充実 ② 男女の生涯にわたる健康づくりの支援

2 第2次津市男女共同参画基本計画 平成27年度施策進捗状況 全体評価

(1) 評価

年度	平成25	平成26	平成27
評価	B	B	B

評価（全事業数 125）		A	B	C	D	E
平成25年度	事業数	7	112	3	0	3
	割合	5.6%	89.6%	2.4%	0%	2.4%
平成26年度	事業数	8	113	3	0	1
	割合	6.4%	90.4%	2.4%	0%	0.8%
平成27年度	事業数	10	105	9	1	0
	割合	8.0%	84.0%	7.2%	0.8%	0%

※評価基準

A	施策の方向に対し、十分な効果があった。	D	施策の方向に対し、効果がなかった。
B	施策の方向に対し、一定の効果があった。	E	その他（事業終了、事業を実施していないなど）
C	施策の方向に対し、あまり効果がなかった。		

(2) 意見

全125事業のうち、施策の方向に対し、効果があったと認められる「A」評価及び「B」評価が92.0%であり、過去2年と比較すると減となっている。また、施策の方向に対し、あまり効果がなかったと認められる「C」評価が7.2%で、過去2年と比較すると増となっている。一方で「A」評価の事業が増えていることや、平成26年度に「E」評価であった事業が「D」評価となったことにより、「E」評価の事業がなくなったことは評価したい。また、「B」評価とした事業の中にも、素晴らしい取組をしている事業が多く見られたことから、次年度以降の取組に期待したい。

第2次基本計画策定後3年が経過し、過年度との比較により各事業の取組内容の成果や課題が表れ始めている。今回、評価を「B」から「C」に下げた6事業については、過去2年と比べた際に、特段、進捗状況に停滞や後退があったと判断したわけではない。事業としては、計画に沿ってきっちりと遂行していると思われるが、「取組内容」や「課題、問題点等と今後の対応」の記載内容からは、前年度よりも成果（数字）を出そう、さらに良い事業にしていこうという積極性や創意工夫が感じられなかったためである。

全125事業に対して言えることであるが、毎年決められたことを決められたとおりに繰り返すこと、無難に遂行することだけで満足せず、事業全体をしっかりと評価検討し、課題、問題点を洗い出し、計画の目標である「男女共同参画社会の実現」のために、各担当課が課題解決に向けた取組を進めてもらいたい。

3 第2次津市男女共同参画基本計画 平成27年度施策進捗状況 基本目標別評価

基本目標		H 2 5	H 2 6	H 2 7
基本目標Ⅰ	男女共同参画意識の啓発	B	B	B
基本目標Ⅱ	政策・方針決定の場における男女共同参画	B	B	B
基本目標Ⅲ	学校教育・生涯学習等における男女共同参画の推進	B	B	B
基本目標Ⅳ	あらゆる場面における男女共同参画の推進	B	B	B
基本目標Ⅴ	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	B	B	B
基本目標Ⅵ	男女共同参画を阻害するあらゆる暴力の防止	B	B	B
基本目標Ⅶ	男女共同参画の視点による健康づくりと生活支援	B	B	B

(1) 基本目標別評価一覧

※評価基準

A	施策の方向に対し、十分な効果があった。
B	施策の方向に対し、一定の効果があった。
C	施策の方向に対し、あまり効果がなかった。
D	施策の方向に対し、効果がなかった。
E	その他（事業終了、事業を実施していないなど）

(2) 基本目標別評価と意見

基本目標 I	男女共同参画意識の啓発						
施策の方向	① あらゆる場面での男女共同参画意識の啓発の推進						
	② 関係機関・各種団体等との連携による男女共同参画意識の啓発の推進						
施策における各事業の進捗状況評価（事業数 18）							基本目標 I の評価
評価		A	B	C	D	E	
平成 25 年度	事業数	2	16	0	0	0	B
	割合	11.1%	88.9%	0%	0%	0%	
平成 26 年度	事業数	3	15	0	0	0	B
	割合	16.7%	83.3%	0%	0%	0%	
平成 27 年度	事業数	3	15	0	0	0	B
	割合	16.7%	83.3%	0%	0%	0%	
全 18 事業が「B」評価以上になっていることを評価したい。特に、人権教育事業の内、「A」評価とした次の 3 事業（津市人権教育広報紙「あけぼの」の発行、教育集会所事業、津市子ども人権フォーラムの開催）については、性的マイノリティなど多様な性の在り方について地域学習会を開催したり、中学生たちが生活の中にある偏見や間違った価値観をなくすためフォーラムを通じて議論したりするなど、地域や子どもたちが正しい知識や認識を身に付けるためのさまざまな取組を進めており評価できる。今後も男女共同参画の視点に立って取り組んでもらいたい。 男女共同参画情報紙「つばさ」やシリーズ人権（広報津掲載記事）、人権だより（広報津折込紙）において男女共同参画をテーマにした啓発記事を掲載したこと、市民人権講座を全 10 地域で開催し、昨年度よりも講座回数が増加したことは評価したい。しかし、市民人権講座については、参加者数の減少や参加者層の固定化など課題は多いことから、講師の選定、周知方法や開催日時・場所など工夫してもらいたい。 三重県男女共同参画センターや地域で活動する団体、人権ネットワーク組織などと連携することで、より効果的な取組が可能となることから、積極的な情報交換や協働を期待する。							

基本目標Ⅱ	政策・方針決定の場における男女共同参画						
施策の方向	① 市の審議会等での男女共同参画の推進						
	② 事業所・各種団体等の方針決定の場における男女共同参画の促進						
	③ 市職員の男女共同参画の視点に立った登用						
施策における各事業の進捗状況評価（事業数８）							基本目標Ⅱの評価
評価		A	B	C	D	E	
平成２５年度	事業数	０	８	０	０	０	Ｂ
	割合	０％	１００％	０％	０％	０％	
平成２６年度	事業数	０	７	１	０	０	Ｂ
	割合	０％	８７.５％	１２.５％	０％	０％	
平成２７年度	事業数	０	６	２	０	０	Ｂ
	割合	０％	７５.０％	２５.０％	０％	０％	

基本目標Ⅱの評価

審議会等への女性の登用推進について、登用率 30% 超を目標としているが、一向に改善の気配が見られない。それぞれ該当する担当部署が、目標数値の存在とその意義についてきちんと理解していないのではないかと懸念される。また、家族経営協定（※1）の締結及び認定農業者の促進が進んでいないが、農業はワーク・ライフ・バランスを実現し就労できる可能性を秘めた分野である。新規団体だけではなく、既存の団体に所属する協定未締結者に対しても積極的に働きかけてもらいたい。男性と女性のそれぞれの視点や意見を審議会や農業の場で反映させることはとても大切なことである。審議会委員の選任にあたっては、女性委員の推薦が期待できる組織や団体に依頼するなど、女性の登用推進に努めてもらいたい。これらの事業については「C」評価としたが、目標達成に向けた今後の取組に期待する。

津市特定事業主行動計画（※2）において、「平成 32 年度までに、課長級以上職員に占める女性割合を 12% 以上にする」「女性職員の育児休業取得率を 100% にし、男性職員の育児休業取得者を 10% 以上にする」という目標が定められたが、市内の一般企業の先駆者となるべく達成に向けた取組に期待する。目標達成には、職場の理解や協力が不可欠であり、それには市職員を対象に行っている男女共同参画研修会は非常に有効であると考えている。毎年参加者数が増加していることは評価するが、さらにもっと多くの職員が参加できるように期待する。

事業所訪問は、単なる啓発の場ではなく、市の方針等を直接伝えることができるとても良い機会である。また、現場の声を聞くことで、今後のより効果的な啓発や施策の推進に繋げてもらいたい。

※1 家族経営協定：家族経営が中心の日本の農業が、魅力ある職業となり、男女を問わず意欲を持って取り組めるようにするためには、経営内において家族一人ひとりの役割と責任が明確となり、それぞれの意欲と能力を十分に発揮できる環境づくりが必要となる。「家族経営協定」は、これを実現するために、農業経営を担っている世帯員相互間のルールを文書にして取り決めたものである。

※2 特定事業主行動計画：各特定事業主（国や地方公共団体）に策定・公表等が義務付けられた、女性職員の活躍のための行動計画であり、数値目標、取組内容とその実施時期等が定められている。

基本目標Ⅲ	学校教育・生涯学習等における男女共同参画の推進						
施策の方向	① 子どもの頃からの男女共同参画の理解の促進						
	② 男女共同参画社会の実現に向けた生涯学習の推進						
施策における各事業の進捗状況評価（事業数 15）							基本目標Ⅲの評価
評価		A	B	C	D	E	
平成 25 年度	事業数	1	14	0	0	0	B
	割合	6.7%	93.3%	0%	0%	0%	
平成 26 年度	事業数	2	13	0	0	0	B
	割合	13.3%	86.7%	0%	0%	0%	
平成 27 年度	事業数	2	13	0	0	0	B
	割合	13.3%	86.7%	0%	0%	0%	

全 15 事業が「B」評価以上となっていることを評価したい。特に、人権教育の事業の内、「A」評価とした次の 2 事業（人権学習推進事業、津市子ども人権フォーラムの開催）については、性的マイノリティにかかわる学習の開催や、性差による固定的な考え方や偏見について話し合うなど、児童や生徒の男女共同参画意識の高揚を図る取組が進められており評価できる。事業終了後にアンケートを実施し、取組の成果や課題を把握分析することで、さらに充実した取組へと繋げてもらいたい。

三重短期大学において、学生向けに男女共同参画に関する講義をするだけでなく、公開講座や講師の派遣を継続して行うなど、社会人や職業人にも門戸を開いていることを評価したい。

保育士や小・中学校の教員が男女共同参画について正しい認識を深めることで、児童や生徒も正しく学ぶことができる。子どもの頃から固定的な性別役割分担意識（※ 3）を持たないような意識づくりはとても重要である。今後も教職員向けの研修や講座において、積極的に男女共同参画に関するテーマを取り上げてもらいたい。

※ 3 固定的な性別役割分担意識: 個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにもかかわらず、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に決めること。「男は仕事、女は家庭」「男は主要な業務、女は補助的業務」といった考えは、性別によって固定的に役割を決めている代表的な例とされている（第 2 次津市男女共同参画基本計画 用語解説より引用）。

基本目標Ⅳ	あらゆる場面における男女共同参画の推進						
施策の方向	① 家庭における男女共同参画の促進			④ 働く場における男女共同参画の促進			
	② 地域における男女共同参画の促進			⑤ 女性のチャレンジ支援			
	③ 防災における男女共同参画の促進						
施策における各事業の進捗状況評価（事業数 20）							基本目標Ⅳの評価
評価		A	B	C	D	E	
平成 25 年度	事業数	1	16	0	0	3	B
	割合	5.0%	80.0%	0%	0%	15.0%	
平成 26 年度	事業数	0	19	0	0	1	B
	割合	0%	95.0%	0%	0%	5.0%	
平成 27 年度	事業数	0	16	3	1	0	B
	割合	0%	80.0%	15.0%	5.0%	0%	
昨年度の「E」評価から「D」評価となった備蓄品の見直しについて、更衣室キットや女性用品の充実を図るなど改善が見られたが、まだまだ十分な対応がなされたとは言い難い。今後も男女双方の視点に考慮した購入や配備に期待する。防災会議や避難所運営委員会の構成員に、もっと女性が参画できるように担当課からの働きかけを要望する。自治会主体だから、地域の自主的な運営だから指導はしないということでは担当課として主体性がない。防災や避難所運営等には男女共同参画の視点を取り入れることが重要である。担当課として積極的な取組に期待したい。 結婚や育児等のために離職した再就職希望者を対象とした就業支援パソコンセミナーにおいて、子育て世代であっても参加できるように託児を設けたこと、また、資格の取得が就職に結びついていることを評価したい。 家庭内における男性の子育てへの参画を促す親支援教室（ファミリー教室）の開催について、男性が子育ての知識や体験を得る機会としてとてもよい取組であるが、参加者が少なく目的を達成しているとは言い難い。開催日時や周知方法などを工夫して、参加者の増に繋げてもらいたい。 家庭教育支援コーディネーターの養成講座について、講座修了生に対するフォローがなされておらず、子育ての悩みや課題をもつ親を支援するという目的を十分に果たせていないのではないか。講座修了生が活躍できるように、関係課と連携して支援体制や情報提供に努めてもらいたい。							

基本目標Ⅴ	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進						
施策の方向	① ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の啓発と普及						
	② 子育て・介護支援の充実						
	③ 育児・介護休業制度等の整備と利用促進						
施策における各事業の進捗状況評価（事業数 30）							
評価		A	B	C	D	E	基本目標Ⅴの評価
平成 25 年度	事業数	3	27	0	0	0	
	割合	10.0%	90.0%	0%	0%	0%	B
平成 26 年度	事業数	3	27	0	0	0	B
	割合	10.0%	90.0%	0%	0%	0%	
平成 27 年度	事業数	3	27	0	0	0	B
	割合	10.0%	90.0%	0%	0%	0%	
全 30 事業が「B」評価以上となっていることを評価したい。特に、「A」評価とした 3 事業（子ども医療費の助成、妊産婦医療費の助成、妊婦健康診査・相談の充実）については、母子の健康や子育ての支援に繋がる大切な事業であるため、今後も継続して実施してもらいたい。 民間の事業所において、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進するためには、まず行政が実践すべきである。育児・介護休業制度の整備だけではなく、実際に取得しやすい環境づくりのために、職員に対する研修や啓発に努めてもらいたい。さらに男女がともに活躍し、働く人一人ひとりが自身の生活スタイルに合わせた、柔軟な働き方が可能となる「働き方改革」の必要性についても、理解を深めてもらえる啓発や取組に期待する。 子育て支援センターの利用や子育て広場の開催については、4 課（子育て推進課、子ども支援課、健康づくり課、学校教育課）にまたがる事業となっているが、市民にとってわかりやすく利用しやすい事業となるよう、担当間での連携を図ってもらいたい。 緊急サポートネットワーク事業や病児・病後児保育事業など、さまざまな理由で子どもを預けることができるサービスの充実や、保育所の待機児童ゼロ（年度当初：4 月 1 日時点）の実現など、子育て支援事業や保育サービスの充実が図られており評価できる。誰もが利用できるように各種事業の周知に努めてもらいたい。また、年度途中での待機児童についても対応できるよう期待する。							

基本目標Ⅵ	男女共同参画を阻害するあらゆる暴力の防止						
施策の方向	① DV防止に向けた教育、広報、啓発及び被害に対する相談・支援体制の整備と充実						
	② セクシュアル・ハラスメント等の防止に向けた教育、広報、啓発及び被害に対する相談・支援体制の整備と充実						
施策における各事業の進捗状況評価（事業数15）							基本目標Ⅵの評価
評価		A	B	C	D	E	
平成25年度	事業数	0	12	3	0	0	B
	割合	0%	80.0%	20.0%	0%	0%	
平成26年度	事業数	0	13	2	0	0	B
	割合	0%	86.7%	13.3%	0%	0%	
平成27年度	事業数	1	11	3	0	0	B
	割合	6.7%	73.3%	20.0%	0%	0%	
「A」評価となった人権出前講座（子どもを暴力から守るセミナー）では、園児や児童が自分には大切にされる権利があることや暴力から逃げる・相談することの大切さなどを学ぶ機会となっている。幼い頃からこのような学習を積むことは、DVや各種ハラスメントから自分の大切な権利を守ることに繋がるため、今後も継続した取組に期待する。さらに、DVや各種ハラスメントについて正しい理解や認識を深め、「しない、させない、許さない」という意識を持てるような講座の開催や教育、啓発にも努めてもらいたい。 市職員におけるセクシュアル・ハラスメントの相談窓口について、人事課を窓口とした相談体制が整えられてはいるが、より相談しやすい環境づくりに努めてもらいたい。また、多様化するハラスメントについて、職員一人ひとりが意識するための啓発が必要であると考え。次年度に各種ハラスメント防止セミナーを実施予定とのことであり、職員の意識向上に期待したい。 各種相談事業は需要が多く、効果的な事業であると思われる。相談員の増員が望ましいが、人員が増やせないのであれば相談時間を調整するなど、より多くの人が利用できるよう相談体制の充実、改善を図ってもらいたい。 津市児童虐待防止等ネットワーク会議については、行政、警察、医師会、自治会などさまざまな分野から構成員が選ばれており、会議の場で市内における課題や問題、具体的な案件について意識の共有が図られていることは評価できる。しかし、平成27年度に関しては開催回数が1回であり、十分な審議・連携が図られたとは言い難い。緊急時に、より効果的で円滑な対応ができるように平時からの連携を深めてもらいたい。							

基本目標Ⅶ	男女共同参画の視点による健康づくりと生活支援						
施策の方向	① 生活上の困難を抱える人への相談・支援体制の整備と充実						
	② 男女の生涯にわたる健康づくりの支援						
施策における各事業の進捗状況評価（事業数 19）							基本目標Ⅶの評価
評価		A	B	C	D	E	
平成 25 年度	事業数	0	19	0	0	0	B
	割合	0%	100%	0%	0%	0%	
平成 26 年度	事業数	0	19	0	0	0	B
	割合	0%	100%	0%	0%	0%	
平成 27 年度	事業数	1	17	1	0	0	B
	割合	5.3%	89.5%	5.3%	0%	0%	

基本目標Ⅶの評価

B

B

B

「A」評価となった不妊治療費助成では、対象者の経済的負担を軽減するため、三重県が実施する助成に加え、市単独事業として治療費の助成を行っていることを評価したい。

食生活改善推進員の活動について、総推進員数が若干の増となっているものの、目標人数達成に向けたさらなる取組が必要である。健康づくり推進員については、目標人数達成目前であるが、もっと男性の推進員が増加し、男性の視点からも積極的な活動ができるようになることを期待したい。どちらの事業についても言えることであるが、推進員に対するフォローが不十分であるため、全ての推進員が活躍しているとは言い難い。男女の生涯にわたる健康づくりのために重要な事業であることから、推進員がそれぞれの地域でより活躍できるように、活動情報を共有するなど工夫に努めてもらいたい。

サロン事業は地域の連携を深める良い取組である。これからの社会では、市や町単位ではなく、もっと小さなコミュニティの中での連携や支援が求められる。この事業がさらに充実した取組となるよう期待する。

障がいのある方への訓練等給付について、この事業が利用者の自立や就労に結びついているかどうかの把握が必要である。さらに、支援の前と後でどのような効果や成果があり、課題や問題点が生じたのかを把握し、より効果的な支援に繋げてもらいたい。

勤労者に対するメンタルヘルス相談や、学校における健康教育の推進は、生涯にわたる健康づくりの支援としてとても大切なことである。相談体制、支援体制のさらなる充実を望む。

4 参考資料

(1) 津市男女共同参画審議会委員名簿

任期：平成27年6月17日～平成29年6月16日
(50音順・敬称略)

	氏名	所属団体・役職等	選定分野	備考
1	伊藤 好幸	—	公募	検討委員会委員
2	小黒 敏克	津市自治会連合会 副会長	その他市長が必要と認める者 (地域活動団体)	【任期】 H28.6.1～
3	笠井 瑞穂	津商工会議所女性会 副会長	その他市長が必要と認める者 (労働関係・事業者)	検討委員会委員
4	北村 文明	三重県環境生活部 次長 (人権・社会参画・生活安全担当)	関係行政機関	
5	杉浦 礼子	高田短期大学 教授	学識経験者	副会長 検討委員会委員
6	杉平 幸恵	連合三重津地域協議会	その他市長が必要と認める者 (労働関係・労働者)	
7	田中 小夜子	三重県農村女性アドバイザー	その他市長が必要と認める者 (労働関係)	検討委員会委員
8	東福寺 一郎	津市立三重短期大学 学長	学識経験者	会長 検討委員会委員
9	平井 千恵子	三重労働局雇用環境・均等室 室長	関係行政機関	
10	丸橋 恒子	津市民生委員児童委員連合会 副会長	その他市長が必要と認める者 (地域活動団体)	
11	森田 寛	—	公募	
12	山口 和世	—	公募	

(2) 第2次津市男女共同参画基本計画 平成27年度 施策進捗状況評価経過

年 月 日	事 項
平成 28 年 5 月 13 日	第1回津市男女共同参画審議会 ・男女共同参画室事業報告について ・審議会の事業スケジュールについて ・第2次津市男女共同参画基本計画の平成27年度施策進捗状況調書について ・第3次津市男女共同参画基本計画策定について
平成 28 年 6 月 30 日	第1回検討委員会 ・第2次津市男女共同参画基本計画における各施策の平成27年度進捗状況について …基本目標Ⅰ・Ⅱの進捗状況評価
平成 28 年 7 月 28 日	第2回検討委員会 ・第3次津市男女共同参画基本計画策定に関する市民意識調査及び事業所調査について ・第2次津市男女共同参画基本計画における各施策の平成27年度進捗状況について …基本目標Ⅱの進捗状況評価
平成 28 年 8 月 22 日	第3回検討委員会 ・第2次津市男女共同参画基本計画における各施策の平成27年度進捗状況について …基本目標Ⅲ・Ⅳの進捗状況評価
平成 28 年 8 月 29 日	第4回検討委員会 ・第2次津市男女共同参画基本計画における各施策の平成27年度進捗状況について …基本目標Ⅴ・Ⅵの進捗状況評価
平成 28 年 10 月 3 日	第5回検討委員会 ・第2次津市男女共同参画基本計画における各施策の平成27年度進捗状況について …基本目標Ⅶの進捗状況評価 ・平成27年度施策進捗状況に対する評価と意見（案）について
平成 28 年 10 月 25 日	第6回検討委員会 ・第2次津市男女共同参画基本計画における各施策の平成27年度進捗状況について …平成27年度施策進捗状況に対する評価と意見（案）について
平成 28 年 11 月 22 日	第7回検討委員会 ・第2次津市男女共同参画基本計画における各施策の平成27年度進捗状況について …平成27年度施策進捗状況に対する評価と意見（案）について ・第3次津市男女共同参画基本計画策定に関する市民意識調査及び事業所調査について …調査結果報告書（案）について
平成 28 年 12 月 27 日	第2回津市男女共同参画審議会 ・第2次津市男女共同参画基本計画における各施策の平成27年度進捗状況について …平成27年度施策進捗状況に対する評価と意見（案）について ・第3次津市男女共同参画基本計画策定に関する市民意識調査及び事業所調査について …調査結果報告書について